

あいさつ運動が始まります

3年前から始まった正門でのあいさつ運動が、今年度も代表委員会を中心に企画されています。

先日、学校とPTAとで、「あいさつ運動」のタスキについて相談していたところ、それを聞いた6年生が、「校長先生、タスキを用意していると聞きました。本当ですか。気にしてくれて、ありがとうございます。」と声をかけてくれました。

「元気で挨拶できるようになりたい」

「知っている先生だけでなく挨拶できるようになりたい」

「正門だけでなくあいさつを広めたい」



という思いをもって、代表委員会の児童があいさつ運動の展開方法について検討しています。

子供たちの呼びかけで、気持ちの良い挨拶が広がることを楽しみにしています。

教育実習生が来ていました

5月26日(月)から6月20日(金)までの4週間、教育実習生が学びに来ていました。大学4年生の村山結衣さんといい、教員を目指しています。6年1組を中心に、多くの学級で授業や児童理解、生活指導について学びました。

実習が始まってすぐに運動会にも参加し、子供たちの支援に当たりました。

16日(月)には、算数科『分数の倍』の授業を校内で公開しました。分数で表された長さのリボンを比較し、何倍になるのかを立式した後、その立式した理由について説明する授業でした。グループで考えた意見を電子黒板で大きく映し、全員で共有できるように工夫していました。

子供たちに積極的に関わる姿、分かりやすい授業づくりへの情熱は、教員に欠かせない姿です。志を高くもって、歩み続けてほしいと期待します。

